

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	目標の数値	実績の数値	本年度	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
御所市	②学校と地域の課題	学校のボランティアの確保・育成	核家族化のみならず、少子化により、地域社会のつながりの希薄化や教育力の低下、地域ボランティアの高齢化による活動への参加率の低下が課題となっている。また、学校と地域との協働に重要な役割となる地域コーディネーターの人材確保に苦慮している。	地域コーディネーターの人材発掘のため地域ボランティアの登録数が増えるよう注力するが、ボランティアの高齢化により登録人数が減ってきている。	地域人材による地域コーディネーターを配置するために学校訪問や地域コーディネーターの役割について理解を深めてもらえるよう研修会への参加を促し、地域コーディネーターになりうる方の発掘及び育成に努める。	地域コーディネーターを教職員が担っている学校は、人材発掘、配置の促進へとつなげ、推進体制・環境整備に努める。	学校教職員以外の地域住民等による地域コーディネーターの配置数	6	校	11	6	2	地域人材による地域コーディネーターがうまく見つからない現状がある。普段学校に関わって頂いている方に声掛けしても、コーディネーターとなると承諾して頂けない現状がある。今後も学校・園へ訪問することで、各学校・園の地域学校協働活動に関わる人材を把握すると共に、研修会等への参加を促すことで人材育成を図る。そして、新しいボランティアによる活動への協力を増やし、地域コーディネーターになりうる人材の発掘に努める。	https://www.city.gose.nara.jp/0000003907.html